

うるわし通信



一般社団法人 うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市桜井1259 エルトさくらい内
TEL&FAX:0744-47-3981 URL: <http://lets.some.jp> E-mail: lets@some.jp

うるわしの桜井をつくる会 第2回定時総会

うるわしの桜井をつくる会
第2回定時総会
平成23年6月12日午後1時
桜井市まほろばセンター
多目的ホール



6月12日（土）に桜井市まほろばセンター多目的ホールにて第2回定時総会を開催しました。

高瀬安男事務局長の司会による開会宣言の後、堀井良殷会長が「総会に参加頂きまして本当にありがとうございます。発足して一年「桜井市民が立ち上がり動き出した」という声が寄せられるようになってきました。古代国家が始まったこの地を魅力的な活力のある美しい町にするため力を合わせていきましょう。ご支援とご協力をお願いします、と開会挨拶。

続いて議長に浅川肇常任理事を選出し、議案として平成22年度事業報告、決算報告、決算監査報告、平成23年度事業計画案、予算案の提案がそれぞれ行われました。

平成23年度事業計画案の提案では、昨年度に引き続き、観光資源活用の研究と桜井駅北口広場の活用の研究、桜井市の景観保存活動への取り組みが承認され、新たに産業廃棄物処分場問題及び日本の森林・林業問題への取り組みが提案され承認されるなど、全ての議案が承認され、総会議事を終了しました。

公開シンポジウム「三輪山の風景街道をつくる」

定時総会の後、ときわぎジョイフルハーモニーによる桜井市歌の合唱があり、引き続き公開シンポジウム「三輪山の風景街道をつくる」が開催され、約150人の参加者が熱心に耳を傾けた。

三輪山の風姿は、桜井の存在をそのままアピールする桜井の象徴であるが、近年、中和幹線の開通に伴い沿線の建造物・広告・看板などにより

その景観が著しく阻害されており、今後の商業施設の誘致開発にあたっては、具体的な景観保存、環境への配慮が緊急の課題であるとして、熱い討論がおこなわれた。

パネリストの磯 三男・栄嶋 まゆみ・宗田 好史・中尾 晃史・中塚 一の五氏は堀井良殷会長の司会で、それぞれ風景街道設定の重要性を強調した。

（4ページに詳細記事）

平成22年度うるわしの桜井をつくる会事業報告

開催日	行事名	開催場所
H22/03/14	うるわしの桜井をつくる会設立総会	桜井市まほろばセンター
H22/03/14	設立記念公開シンポジウム 「取り戻そう生きる力」	桜井市まほろばセンター
H22/04/04	広報誌「うるわしの桜井」創刊号 25000部発行	
H22/09/11	平城遷都1300年記念事業協力 「甞れ卑弥呼王国」	桜井市民会館
H22/11/13	第1回ランチタイムトーク 高瀬 安男 テレビが変わるアナログからデジタルへ	三輪座
H22/11/28	保田與重郎生誕100年記念事業協賛 映画と講演の会	桜井市立図書館
H23/02/07 H23/02/24	奈良観光ビジネスカレッジ桜井 体験型観光について事例研究	桜井市商工会館 桜井市西分庁舎

平成22年度うるわしの桜井をつくる会決算報告

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	内 訳
会費収入	0	1,332,000	12法人+121名
寄付金収入	0	2,187,110	日本文化の源流桜井を展く会 桜井市の環境をまもる会
広告収入	0	100,000	うるわし創刊号大和信用金庫
雑収入	0	0	
計		3,619,110	
受取利息	0	771	大和信用金庫
前年度繰越金	0	0	
計		771	
合 計	0	3,619,881	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	内 訳
貸館料	0	57,700	
通信費	0	69,006	
会議費	0	27,884	
印刷費	0	433,625	
事務用品費	0	38,410	
設立費	0	118,030	
総会費	0	246,475	
広告宣伝費	0	33,815	
雑費	0	10,000	
合 計	0	1,034,945	

収入	¥3,619,881
支出	¥1,034,945
余剰金	¥2,584,936

平成23年度うるわしの桜井をつくる会事業計画

開催日	行事名	開催場所
H23/06/12	第2回定時総会	桜井市まほろばセンター
H23/06/12	公開シンポジウム 「三輪山の風景街道をつくる」	桜井市まほろばセンター
	第2回ランチタイムトーク 浅川 肇	
景観・環境部会	景観関係のシンポジウムと勉強会の開催	
歴史・文化部会	日本文化の研究	
	纏向遺跡等の観光資源活用の研究 桜井駅北口広場の活用	
産廃部会	産業廃棄物処分場問題の取り組み	
木材部会	日本の森林・林業問題の取り組み	
事務局	ポスト1300年祭 記紀・万葉プロジェクトへの取り組み	

平成23年度うるわしの桜井をつくる会予算

【収入の部】

科 目	予算額	内 訳
会費収入	1,500,000	
寄付金収入	100,000	
広告収入	100,000	
計	1,700,000	
余剰金	2,584,936	
計	2,584,936	
合 計	4,284,936	

【支出の部】

科 目	予算額	内 訳
貸館料	60,000	
通信費	130,000	
会議費	30,000	
印刷費	650,000	
事務用品	40,000	
事業費	100,000	
総会費	150,000	
広告宣伝費	30,000	
雑費	10,000	
予備費	500,000	
計	1,700,000	
活動基金	2,584,936	次期繰越金
計	2,584,936	
合 計	4,284,936	

公開シンポジウム「三輪山の風景街道をつくる」



パネリスト紹介（敬称略）

磯 三男
地球温暖化防止運動
大和郡山百景写真集発行
平城宮跡解説ボランティア

栄嶋 まゆみ
京都府出身 フラワーコーディネーター
風景街道まほろば連絡協議会長
森を守る市民の会代表

宗田 好史
浜松出身 京都府立大准教授
都市地域計画が専門
イタリアのローマ大学等に留学経験

中尾 晃史
岐阜県出身
奈良県まちづくり推進局
地域デザイン推進課長

中塚 一
京都府出身
地域計画建築研究所取締役設計画部長
住友林業に勤務後現職
都市計画まちづくりが専門

堀井 良殷
シンポジウムコーディネーター
うるわしの桜井をつくる会長
大阪21世紀協会理事長

宗田 好史（敬称略）

大和は国のまほろばと讃えられた、この万葉のふるさとが壊れることにどうして気づかないのか。その業者に土地を貸した人も線引きを許してしまった人も末代まで語りつごう。全国共通の店を建てて、その土地固有の風景を壊したのは誰か。大和は国のまほろば万葉のふるさととして市の歌で高らかに歌う桜井が、没個性なショッピングセンターをつくっていいはずがない。その結果ブームが去った後に廃墟をさらしている昔のボーリング場やパチンコ屋が国のまほろばの中にあっているのか。

中塚 一

行政が勝手に決めるのではなく地域の方とある程度合意形成をしたところから一步一步決めていくのが良い。県がつくるガイドラインに地元の意向を加えて作るのがいい。まず現状の把握・共有 景観に対するイメージづくり、景観まちづくりの具体的な取り組みの検討・実施、景観まちづくりの自主的な取り組みの検討・実施等、以上のようなプロセスを大切にしたい。

中尾 晃史

景観計画というものはどういった景観を維持していくために、どこをどのように守るかという目標をつくった上で、どういう地域のどういう範囲のところの建物に規制をしていくかということである。地区ごとに規制の内容を変えることもできる。景観計画をつくる作業をどんどんと進めていただきたい。

磯 三男

緑豊かな町をつくるために街路樹づくりをし、沿道住民からアンケートを取り、県や市の道路管理者と定期的に打ち合わせをして落ち葉の清掃をしている。街路樹が切られすぎるとだらしなくなる。樹形をなしてない。ほんの一部だが枝を残しているところもある。黄葉が過ぎて落ち葉がでると文句が出る。それにたいして市は逃げてしまう。本来は市民とボランティアの間にはいって合意形成をしてほしい。

栄嶋 まゆみ

自分たちが事業を生み出して利益も確保して雇用も創出していくという方向に行くことが必要である。それが国交省のフロンティア事業。それぞれの組織がお互いの連携を意識して、それぞれが繋がっていき市民力が強化される、そういうまちづくりが桜井市の中で発展していくことが望まれる。

堀井 良殷

中和幹線が旧耳成高校からジャスコのあたりまで貫通して大きな道路ができた。この幹線道路沿いの風景がこれからどのようになるかについて非常に我々は気がかりである。街路樹や電線の地中化は勿論。三輪山の風景を大切に、まほろばの国にふさわしい美しい街並みをつくるべきだ。

編集後記 会員との情報交換紙「うるわし通信」を毎月10日発行する。市民運動は行政の仲間入りではない。行政が管理型を目指すとするれば私たちは展開型を目指すのである。積極的な広報をしたい。なお、編集発行の責任を明確にするため、その所在地を編集人の小宅とする。（あさ）

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL 090-1961-6345